

(仮称)九品仏地区児童館・保育園整備基本構想(案)検討委員会(第3回)

・日時:2024年1月31日(水)

・場所:九品仏まちづくりセンター区民フロア

区委員:渡邊祐士 (世田谷区子ども・若者部 副参事 児童施策推進担当)	略称:長
区委員:寺西直樹 (世田谷区子ども・若者部 児童課長)	
区委員:井出野彰 (世田谷区立等々力児童館館長)	以上略称:(区委)
地域委員:4名	略称:(地委)
オブザーバー:私立保育園事業予定者(一般社団法人スマイル・キッズ)	略称:(才保)
:区立等々力児童館職員	略称:(才児)
基本構想案作成受託設計者:(株)手塚建築研究所	略称:(設)
検討委員会事務局	略称:(事)

議事内容

【1.前回検討委員会の議事要旨確認】

・第2回検討委員会の議事要旨を確認。(事)

【2.事例見学会(ふじようちえん、PLAY!PARK)の報告】

・ふじようちえんとPLAY!PARKの見学会の報告。(設)

参加者の意見や感想を共有したい。(長)

ふじようちえんで園児が賑やかに走り回ったり遊んでいるが、静かに過ごす場所もあり、静かに過ごしたい、過ごさないといけないときの場所も用意されていた。九品仏においても賑やかなところと、静かに学習と読書ができるところがあると良いと感じた。(事)

ふじようちえんで、全部が砂場の場所や落ち葉のプールがあった。子どもたちがどこでも穴を掘ったり戻したり、使い方が様々で素敵だった。児童館でも同じように遊べたら良いと思った。また、円形の建物に沿った駐輪場が停めやすく、取り出しやすそうだった。(地委)

外からも子どもたちが生活している感覚がわかるのが印象的だった。園長先生と園児の距離が近く、園長、職員、子どもたち、地域の方も含めて、関係性が連続していて開かれた関係を目指しているように感じた。(事)

円形の良さを学ぶことができた。園長先生から全部が見えるようになっていたことが素晴らしい。また園長先生が、砂場にキラキラしたものを埋めていて、それを掘って見つけた喜びを共有し、たくさん取れた子は他の子に分けてあげる思いやりや、五感を養える砂場が良いと感じた。(才保)

PLAY!PARKで、粘土、工作、楽器の場所等を配置しており、好きなところを自由に選んで、そこを大人の方が見守っていることが良いと感じた。(才保)

至る所に工夫が見え、近ければ子どもを通わせたいと思える場所だった。九品仏でも取り入れられる部分は取り入れたいと感じた。(地委)

園児の送迎をドライブスルーのように、園児を入口で先生に渡していると聞き、受け渡しスムーズで保護者は助かるだろうと感じた。(地委)

園長先生は約680人の園児と保護者の顔と名前を暗記されている。また、電話がかかった瞬間に園児と保護者の顔等、全ての情報が画面に出るシステムを使って、情報管理をしている。(設)

参加できなかった方で、ご意見・感想はあるか。(長)

スタッフはたくさんいるのか。(区委)

先生が約200名強、今園児が1200名で、毎年の入園希望者は3000名。父親は遠距離通勤してもいいけど、子どもは近くで通わせたい母親が多く、近くに引越されている。(設)

モンテッソーリ教育で、教材も多く、英語教育は、ネイティブの方もたくさんで魅力的だと思った。(地委)

各部屋に先生と、英語の先生がペアで来ている。希望すれば英語のクラスも受けることができ、卒園しても高校まで英語を学びに通っている。放課後の居場所とあって、夜の7時まで英語やピアノ等も教えている。(設)

【3. 整備基本構想（案）報告書について】

・基本構想報告書の内容説明。（事）

・ワークショップを開催し、子どもたちの意見が自由に出てきた。アンケートも含めて、子どもたちから出た意見を反映した部分や、できなかった理由の説明を大人の責任として返していきたいと考えている。（長）

・公園について、トイレは公共に開放できるトイレが児童館側にある案や、児童館敷地から直接公園にいける出入口ができないか調整をしている。（長）

・学区と学校の位置関係図について奥沢小、東玉川小学区域に一部修正が必要。（地委）

・この地域の公園にはぶら下がる遊具があまりない。PLAY!PARKのようにぶら下がる遊具があると、力が伸ばせるのではないかと感じた。（地委）

（遊具の安全性について）

・奥沢西公園のジャングルジムが撤去され、バネのあるスプリング遊具に置き換わるのは、今回の整備計画に関係しているか。（地委）

安全性や耐久性の観点で交換されるのかもしれない。今回の計画に関連して遊具についても整備できるかなど確認する。遊具の安全性については近年注視されている。（長）

スプリング遊具については、お台場のキッズスペースを設計した際に、実際に使わない方から危ない遊具という指摘があり、全撤去した経験がある。（設）

・子どもの頃には学校の体育館に吊るしてあるロープを上り下りしていたが、今はない上に、学校から子どもの運動機能が低下していると保護者向けに言われたりする。児童館にはリスクはあるが成長に良い遊具などはあるか。（地委）

特にない。大人の目も常にある訳ではなく、人数に余裕はない。怪我やトラブルの時の対応はできる状態である。（区委）

子どもの施設となると、子どもの安全や責任など多くの規制がかかる。PLAY!や彫刻の森は美術館の扱いとしているため、同意書も書いてもらい、自己責任の部分もある。（設）

・例えば児童館のホールに登れるもの等を、落下防止のハーネスのようなものをつけて、マットを敷いて安全策を取るとできるが、場所としてその遊具に特化したものになってしまう。地域に愛される施設になっていくためには、どういう形で、準備、据え付け、区切ると良いのかを考えないといけない。世田谷区のプレイパークでは自己責任で遊ぶルールとしているが、怪我をした場合にはクレームとしてあがる。環境としてどう整えてられるか議論していけばいい形が見えてくると考える。（長）

・ねこじゃらし公園立ち上げの際に、どういう公園にするか話し合いをして、自己責任で遊ぶ何も無い公園を作った。遊具がないと問い合わせもあったが、実際子どもたちは、木に登ったり、土を掘って遊んでいた。後に保育園の先生によって木登りは危ないから禁止にされていたが、何も無い公園でも子どもたちは遊びを見つけると分かり、何も無い公園が好きだった。（地委）

【4. 配置計画（案）の比較検討を踏まえた建物配置・ゾーニング（案）の検討】

・周りの楕円の部分を、上に上げられるスロープにするゾーニング案を説明。（設）

下までスロープで降りられると、避難用の滑り台は必要なくなるのか。（地委）

スロープは避難用と認められないため、階段を設けることで対応ができる。（設）

細かい設計部分については基本設計で進めていく。機能として気になることがあれば意見をいただきたい。参加したワークショップでは、子どもだけが入れる部屋が欲しいと熱望していた。（長）

・館庭の広さについて、18×9mの大きいドッチボールコートは入るか。（区委）

楕円の内側にちょうど入るくらいの広さがある。（設）

・音楽室、遊戯室では地域開放のことも含めて考えても、遊戯室でコンサートができたり、大きな声を出して騒げたり、防音の部屋でバンドをやりたい中高生が来ることができる。

（長）

・駐輪場のスペースは充分確保されているか。幼稚園児も小学生も来て、大きい子育て自転車と一緒に子ども用自転車、キックボードも停まる。等々力児童館の場合、50～70台程度まで停まることがある。（オ児）

40台弱は止められる想定だが、緑地計画が厳しいため、内容を再確認する。（設）

中間説明会の時に来られた方が、交通量が多くて、掃除も気にされていたので、駐輪場の停め方についても意識した方が良いと思う。(地委)

前輪だけ固定できるものを設置すると良い。(設)

最近、自転車のタイヤが大きいものが多く、入らないため撤去されている場所が多い。

(地委員)

調べておく。(設)

建物外周部に駐輪し、道路に直接つながるのではなく、色が変わるぐらいの区切りがあると、子どもの飛び出しや、駐輪方法への苦情にもつながりにくいと感じる。(地委)

・接道緑化は壁面緑化で緩和できないか。(長)

壁面緑化は電力を消費する点もあるが、緩和については再確認する。(設)

・保育園の専用園庭として、屋上に砂場や植栽のできる土を設ける場合の耐荷重は問題ないか。(才保)

できるが木造では厳しい。鉄骨ではやりやすい。(設)

今後詳細を詰めていきたい。区としては木造にこだわりがある訳ではなく、木質化を推進したい。(長)

・屋上園庭の面積はどの程度取れるか。(長)

150~300㎡を想定しているが、空調機やソーラーパネルが乗るため、一概に言えない。

(設)

NearlyZEBを目指した時に、エネルギーの創出をソーラーパネルでも考えたい。(長)

ソーラーパネルだけの創出では補えない。(設)

・屋上でもぐるぐると園庭を回れるか。(才保)

ぐるぐると回るのは1階を保育園側も使うことを想定し、願っている。(設)

・ホールに舞台はつくれるか。子育て支援で舞台での発表会を行っている。(才保)

少しの台であれば、持ち運べるものや電動で上がるものをつくることできる。(設)

・また気になった点や、話したかったことに関しては、メール等で事務局の方にお寄せいただきたい。(長)

【5.次回へ向けて】

・次回第4回検討委員会は、2/28(水)10~12時で九品仏まちづくりセンター2階にて開催予定。(事)

以上